

# ごあいさつ



## 新たな観光産業・交流人口 拡大に努めます

松浦市長 友広 郁洋

五

平成二十一年

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、原油価格の高騰、金融危機、雇用不安など厳しい一年でありましたが、本市にとりましては、まちづくりの将来像である「次代をめぐむ 産業創造都市 まつうら」を目指して動き出した一年でもありました。中でも、昨年12月には、西九州自動車道・伊万里松浦道路の本市区間において、はじめて本体工事が着工されました。このことは、多くの関係者の皆さまのご理解とご協力のたまものであり、心から感謝申し上げますとともに、本市の発展のため、早期完成に向けて努力する決意を新たにしたいところでございます。

市議会や市民皆さまのご理解とご協力をいただきながら取り組みを進めている行政改革や財政健全化計画もようやく軌道に乗ります。今年度は、激動する社会経済情勢を見極めながら、夢と希望が持てるまちづくりに資する事業を実施してまいりたいと存じます。具体的には、基幹産業である農業・漁業・商工業の振興と、交流人口拡大のために、引き続き体験型旅行事業・グルメ観光事業を進めるとともに今年度の春に開通します鷹島肥前大橋（仮称）にあわせ、「鷹」をキーワードとして福岡ソフトバンクホークスとパートナー契約を結び、広く松浦市の宣伝広報活動を展開いたします。また、定住促進事業、内陸型工業団地の整備、御厨小学校・福島つばき荘の改築、防災行政無線の整備など、各種事業に取り組んでまいります。

どうか本年も市政推進に対する一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民皆さまにとりまして、すばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

謹んで

新年のごあいさつを

申し上げます

平成二十一年 元旦

### 松浦市

市長 友広 郁洋  
副市長 寺澤 優 國  
教育長 松尾 紘

### 松浦市議会

議長 中塚 祐介  
副議長 志水 正司  
議員 下久保 直人

山 口 芳 正  
高 橋 勝 幸  
白 石 光 一 郎  
山 口 芳 正  
竹 本 伸 太 郎  
吉 原 順 穂  
久 枝 邦 彦  
尾 野 一 男  
金 内 武 久  
友 田 吉 泰  
吉 富 武 志  
鈴 立 靖 幸  
木 原 勇 一  
松 下 英 俊  
椎 山 賢 治  
板 谷 國 博

# 新年の



市民と連携し、  
郷土松浦の発展に  
取り組みます

松浦市議会議長 中塚 祐介

新年明けましておめでとうございます。

市民皆さまには、輝かしい平成21年の新春を迎えられましたことに心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から市議会に対し、特段のご理解、ご協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、新しい松浦市が誕生し、3年が経過いたしました。この間、我が国の社会・経済情勢は大きく変化し、その対応は、一層複雑、多様化してきています。

また、国の三位一体改革などに伴い、都市と地方の格差が顕著となり、さらには、アメリカを発端とした金融危機が我が国においても影響が出ており、企業倒産、雇用不安などを引き起こし、ますます地域経済が疲弊してきています。

このような中、本市におきましては、厳しい財政事情を受け、行財政改革を進める一方、新生松浦市の調和の取れた発展を目指し、3月完成予定の鷹島肥前大橋（仮称）や西九州自動車道の早期完成、また、新たな工業団地を造成しての企業誘致、さらには体験型観光事業の推進などを押し進めることにより地域の活性化、本市の市勢伸張が図られているところであります。市議会といたしましても、市と共に市民皆さまと手を携え、郷土松浦の発展に向けて誠心誠意取り組みたいという決意でございます。

終わりになりますが、本年が市民皆さま、松浦市にとりまして飛躍する素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



長崎ならではのまちづくりや  
観光振興に取り組みます

長崎県知事 金子 原二郎

新年明けましておめでとうございます。

県民の皆さまには、お健やかに新春を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、長年の課題でありました大型事業が、実現に向けて大きく動き出した年でありました。九州新幹線西九州ルートは、武雄温泉・諫早間の着工が認められ、現在、トンネル工事などが着々と進められています。

また、昨年は、日本で初めての「列福式」が本県で開催され、キリシタン文化を切り口とした多彩な催しを開催し、県内外の多くの方に本県の歴史や文化の魅力を感じていただきました。これらの取り組みにより、今後、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けて大きな弾みがつくものと思っています。



2009年は両市にとって、  
姉妹都市提携20周年を祝う重要な年です

オーストラリア・マッカイ市長 コール・メンダ

マッカイ市を代表して、新年における松浦の皆さまのご安全、ご繁栄、ご多幸をお祈りいたします。昨年11月は松尾教育長様、中塚議長様をはじめ松浦から15人の訪問団員の皆さんに本市を訪問していただき光栄に思っております。松浦市とマッカイ市はこのような訪問を通して、両市民の間に友情がはぐくまれ、関係を強くしてきました。

2009年は両市にとって、姉妹都市提携20周年を祝う重要な年です。9月には15

さらに、県政の切実な課題である雇用の場の確保については、これからも企業誘致や地場企業の振興などに全力で取り組んでまいりますとともに、犯罪や災害から県民の皆さまを守り、福祉や医療を充実させ、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

このほか、昨年の明るい話題としては、下村脩博士のノーベル化学賞の受賞や、内村航平選手の北京オリンピック体操競技での銀メダル獲得がありました。あらためてお二人の栄誉をたたえ、ともに、学問やスポーツに励む県内の子供たちに大きな誇りと夢を与えてくれたと思っています。

終わりに、本年が、皆さまにとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈りいたします。新年のごあいさついたします。

人の生徒と2人の引率者からなる青少年使節団、11月には市民訪問団を松浦へ派遣します。また私たちは、松浦の生徒の皆さんの訪問を楽しみにしております。

最後にもう一度、新年の皆さまのご健康とご多幸をお祈りするとともに、両市の関係がますます進展することを期待し、この大切な関係の節目の年を共に祝えることを楽しみにしております。